

高知大学

2020 年度 入学試験問題(前期日程)

数 学

(数学 I ・ 数学 II ・ 数学 III ・ 数学 A ・ 数学 B)

試験時間 120 分

理工学部：数学物理学科(数学受験)・情報科学科

医学部：医学科

問題冊子 問題…… 1 ~ 4 ページ…… 1 ~ 2

解答用紙…… 4 枚

下書き用紙…… 1 枚

配点…… 理工学部は表示のとおり。医学部は表示の 0.75 倍とする。

注意事項

- 試験開始の合図まで、この問題冊子を開かないこと。
- 試験中に、問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び下書き用紙の不備等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 各解答用紙に受験番号を記入すること。
なお、解答用紙には、必要事項以外は記入しないこと。
- 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 解答用紙の各ページは、切り離さないこと。
- 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
- 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ること。
- 試験終了後、指示があるまでは退室しないこと。

1

数列 $\{a_n\}$ は a_1 が正の整数で、公比が 1 でない正の実数であるような等比数列とする。数列 $\{b_n\}$ は b_1 が整数で、公差が整数であるような等差数列とする。このとき、次の問い合わせに答えよ。

(100 点)

- (1) 数列 $\{a_n\}$ の各項は整数とする。数列 $\{b_n\}$ は $b_1 = 8$ であり、公差は 10 とする。 $a_5 = b_5$ であるとき、数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。
- (2) $a_1 = 27$ であり、数列 $\{a_n\}$ の公比は 1 より小さいとする。また、 $a_1 > b_1 > 0$ と $a_3 = b_3$ を満たすとする。このとき、数列 $\{b_n\}$ の公差が最大となる場合の数列 $\{a_n\}$ と数列 $\{b_n\}$ の一般項の組をすべて求めよ。
- (3) 数列 $\{a_n\}$ の公比は 1 より大きいとする。また、 $a_2 = b_2$ と $a_4 = b_4$ を満たすとする。このとき、数列 $\{b_n\}$ の公差が最小となる場合の数列 $\{a_n\}$ と数列 $\{b_n\}$ それぞれの一般項を求めよ。

2

θ を $0 \leq \theta \leq \pi$ を満たす実数とし、 x の 2 次方程式

$$2x^2 - (4 \cos \theta)x + 3 \sin \theta = 0$$

を考える。このとき、次の問い合わせに答えよ。

(100 点)

- (1) この 2 次方程式が虚数解を持つような θ の値の範囲を求めよ。
- (2) この 2 次方程式が異なる 2 つの正の解を持つような θ の値の範囲を求めよ。
- (3) この 2 次方程式の 1 つの解が虚数解で、その 3 乗が実数であるとする。このとき、 $\sin \theta$ の値を求めよ。

3 次の問いに答えよ。

(100 点)

- (1) p, q を整数とする。このとき、 $p - q$ が奇数であることと、 $p + q$ が奇数であることは同値であることを証明せよ。
- (2) $p^2 - q^2 = 100$ を満たす整数の組(p, q)をすべて求めよ。
- (3) $p^2 - q^2 = 250$ を満たす整数の組(p, q)の個数を求めよ。
- (4) $p^2 - q^2 = 210000$ を満たす整数の組(p, q)の個数を求めよ。

4 x の多項式

$$f(x) = x^4 - 4x^3 + 5x^2 - 2x$$

に対して、次の問いに答えよ。

(100 点)

- (1) 極限値 $\lim_{x \rightarrow 0} \frac{x}{f(x)}$ と $\lim_{x \rightarrow 2} \frac{x-2}{f(x)}$ を求めよ。
- (2) 次の等式が x についての恒等式となるような定数 a, b, c, d の値を求めよ。

$$\frac{1}{f(x)} = \frac{a}{x} + \frac{b}{x-2} + \frac{c}{x-1} + \frac{d}{(x-1)^2}$$

- (3) $t \geq 3$ とする。定積分 $\int_3^t \frac{1}{f(x)} dx$ を求めよ。
- (4) t が $3 \leq t \leq 5$ を満たす範囲で動くとき、 $F(t) = \int_3^t \frac{1}{f(x)} dx$ の最大値を求めよ。